

을/를

目的語を示す助詞

日本語の「を」に当たります。対応はかなり素直ですが、日本語が「が」を使う場面で韓国語は 을/를 を使うことがあり、そこが落とし穴です。

■ つけ方

語末	形	例
パッチムあり	을	책을
パッチムなし	를	커피를
話し言葉での縮約	ㄹ	커피를 → 커피
好き・嫌い	을/를	한국어를 좋아해요
乗る・会う	에 / 에게 ではなく 을/를	버스를 타다 (○) 친구를 만나다 (○)
どがつくと	消える	책도 읽어요

■ 「を」とどう違うか

動作の対象を示すという基本は「を」と同じです。책을 읽어요 (本を読みます)。ここは迷いません。

注意が要るのは好き嫌いと上手下手です。日本語では「韓国語が好きだ」「歌が上手だ」と「が」を使いますが、韓国語は 한국어를 좋아해요, 노래를 잘해요 と 을/를 を使います。日本語の感覚のまま 이/가 にすると不自然になります。

「会う」も同じです。日本語は「友だちに会う」ですが、韓国語는 친구를 만나다. 「に」に引かれて 에게 を使う誤りが多く見られます。

一方、타다 (乗る) は日本語の「に乗る」と違って 을/를 を取りません。버스를 타다 です。

■ 例文

- 1 매일 한국 드라마를 봐요.
毎日韓国ドラマを見ます。
- 2 저는 김치를 좋아해요.
わたしはキムチが好きです。
- 3 내일 친구를 만나요.
明日友だちに会います。
- 4 여기에서 버스를 타세요.
ここでバスに乗ってください。
- 5 동생이 노래를 잘해요.
弟(妹)が歌が上手です。
- 6 점심을 아직 안 먹었어요.
昼ご飯をまだ食べていません。

■ 紛らわしいもの

이/가
日本語の「が」に引かれて 이/가 を使いたくなる動詞に注意。好き・嫌い・上手・下手はすべて 을/를 です。
한국어를 좋아해요. (○) / 한국어가 좋아해요. (×)

에게 / 한테
「に」に当たりますが、「会う」には使いません。만나다 は 을/를 を取ります。
친구를 만나다 (○) / 친구에게 만나다 (×)

은/는
対比を出したいときだけ 은/는 にします。ふつうに目的語を言うなら 을/를 です。
커피를 마셔요. (普通) / 커피는 마셔요. (お酒は飲まないが)

■ まちがえやすい点

- ✕ 한국어가 좋아해요.
○ 한국어를 좋아해요.
좋아하다 は 을/를 を取ります。日本語の「が好きだ」に引かれやすい誤りです。なお 좋다 (形容詞) なら 한국어가 좋아요 で正しくなります。
- ✕ 친구에게 만났어요.
○ 친구를 만났어요.
만나다 は 을/를 を取ります。日本語の「に会う」とずれる代表例です。
- ✕ 버스에 탔어요.
○ 버스를 탔어요.
타다 も 을/를 です。日本語の「に乗る」とはずれます。